

取扱説明書

電動ポンプ

MP-20C

MP-20S

MP-20TK

フォーム H

RIKEN

製造元 理研精機株式会社
総発売元 理研機器株式会社

まえがき

このたびは、理研の電動ポンプをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本機の取扱方法、注意事項などについて説明しております。

初めてお使いいただく方はもちろんのこと、すでにご使用になられ経験をお持ちの方も、この説明書をよくお読みになり内容を理解された上で、常にこの取扱説明書を手元に置かれてご使用ください。

安全に関するご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な点検が不可欠です。

この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、充分理解されるまで本機の操作を行わないでください。この説明書では、もしお守りいただかないとい、人身事故につながるお

それのある注意事項は**⚠警告**という見出しのもとに掲げております。また、お守りいただかな

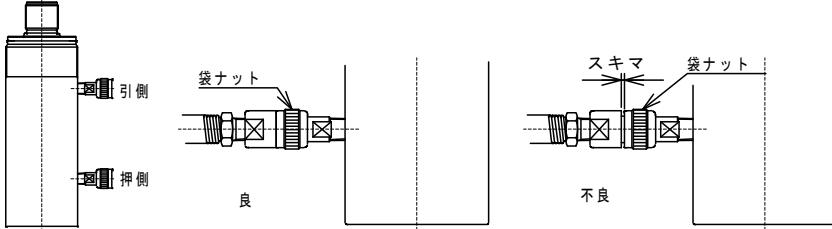
いと本機の破損、故障につながるおそれのある注意事項は**⚠注意**という見出しのもとに掲げております。いずれも重要な内容を記載していますので必ずお守りください。なお、使用中に異常と思われる場合は、電源を切り、販売店にご連絡ください。

⚠警告

- 作動油が飛散した場合、重大な被害の生ずるおそれのある場所では使用できません。特に、けが、火災等の原因になりますので、火気の近くでは使用しないでください。
- 吐出口プラグは、現品のままでは加圧できません。高圧用継手（ホース、カップラ）等に交換してから加圧してください。
- 本機の最高使用圧力は70 MPaです。安全装置としての高圧安全弁は、出荷時72 MPaに調整してありますので絶対これ以上に調整しないでください。なお、圧力スイッチは70 MPa以下でご使用ください。
- 最高使用圧力70 MPa未満の油圧機器をご使用の場合は、油圧機器の耐圧以下に高圧安全弁および圧力スイッチの設定を下げてご使用ください。下げないと機器が破損します。設定については、ページ18「高圧安全弁の調整方法」を参照してください。
- 感電事故防止のため電気関係の保守点検は、必ず電源を遮断してから行ってください。
- 作動油の温度は、5～60℃の範囲でご使用ください。これを超えた高温でのご使用は油圧機器の寿命を短くするとともに、油圧機器および作動油に触れた場合は火傷をするおそれがあります。油温上昇を防ぐにはオイルクーラをご使用ください。
- アースの接地を必ず行ってください。電磁開閉器金属ケース内および下面に接地端子があります。感電事故防止のため接地極は必ず電気設備技術基準D種接地工事以上で接地してください。

⚠️ 警告

- セルフシールタイプのカップラを使用する場合、袋ナットを根元まで完全に締めてください。図のように隙間があるとシリンダが作動しません。複動シリンダ使用の場合、引側のカップラが不完全な接続の状態で、押側に圧力をかけると引側に倍圧がかかり、カップラ、シリンダ、高压ホースが破損や飛散し、人身事故を引き起こすことがあります。



- 高压油が噴出しているところに手や身体を近づけないでください。皮膚を貫通し、重傷を負うおそれがあります。
- 作動油が目に入った場合は清浄な水で最低15分間洗浄した後、医師の手当を受けください。また皮膚に付着した場合は水と石鹼で洗ってください。
- 圧力スイッチはポンプ運転中には設定モードにしないでください。設定モードにするとモータは停止するため、誤作動により事故になるおそれがあります。
- MP-20TKにて外部の方向制御弁から戻り口への配管は、抵抗を少なくするためユニオン付低圧ホースを使用し、セルフシールタイプのカップラは絶対に使用しないでください。セルフシールタイプのカップラが詰まると方向制御弁が破損し、けがをするおそれがあります。
- 高压ホースは加圧時に手で握らないでください。握った状態で高压ホースが破損した場合、高压の作動油が瞬時に噴き出し、手に穴があくほどのけがをするおそれがあります。
- 高压ホースは消耗部品です。外観上は異常が認められない状態でも、内部に傷、ピンホールが発生していることがあります。寿命までいたらなくとも使用状況などを考慮して定期的な交換をお勧めします。

⚠️ 注意

- ポンプは回転方向が決まっています。モータ側面に貼られている矢印方向（モータ上部から見て反時計方向）に回転することを確認してください。方向制御弁を中央位置にし、モータ起動用押ボタンスイッチを一瞬押して寸動させ、モータ上部のファンにて回転方向を確認してください。逆回転の場合は、3相の内2相を入れ替え再度確認してからご使用ください。逆回転のままで運転すると低圧ポンプが破損します。なお、逆回転の場合は低圧油を吐出しません。
- 作動油は、ISO VG 46（シェルルブリカンツジャパン シエル テラス S2 M4 6）を使用しています。リン酸エステル、水ーグリコール、W/Oエマルジョン系等は使用できません。パッキンの劣化、および機器の腐食等により故障します。ご使用の場合は、弊社にご連絡ください。油タンクへの給油は、油面計の上限を守ってください。
- 高压安全弁は、リリーフ弁として使用しないでください。連続して使用する場合は、別にリリーフ弁を付けてください。
- ポンプを吊り上げる場合は、4本のアイボルト（吊りボルト）が確実にねじ込まれていることを確認したのちに行ってください。
- エア抜き弁（SV-1000）を取り付け、エア抜きを行う場合は、エア抜き弁脇の排気穴から作動油が出ますので、飛散しないようにウエス等で防止してください。
- 廃棄される廃油（作動油）は、産業廃棄物に該当しますので、自治体の許可を得ている産業廃棄物収集業者、または産業廃棄物処理業者に委託し、廃棄してください。

目 次

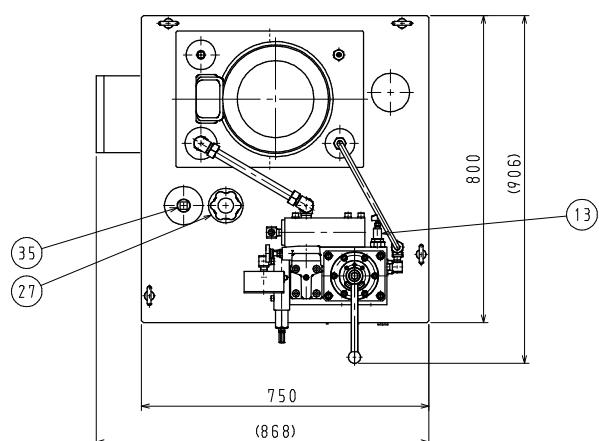
1	概 要	2
2	各部の名称及び説明	3
(1)	MP-20C	3
(2)	MP-20S	5
(3)	MP-20TK	6
3	仕様	7
4	ご使用上の注意事項	8
5	設置方法	9
6	ご使用前の準備	11
7	保守点検	12
(1)	稼動前の点検事項	12
(2)	稼働中の点検事項	12
(3)	稼動後の点検事項	12
(4)	作動油の交換について	12
8	圧力スイッチの説明	13
9	操作方法	15
(1)	MP-20C	15
(2)	MP-20S	16
(3)	MP-20TK	17
10	高圧安全弁の調整方法	18
11	低圧安全弁、アンロード弁の調整について	19
12	ポンプのエア抜きについて	20
13	故障の解説	21
14	内部構造図、部品表	23
(1)	MP-20C ポンプ部	23
(2)	MP-20C 油タンク、配管関係	26
(3)	BPS-81 バルブロック	29
(4)	BHV-48 方向制御弁	31
(5)	方向制御弁部	33
(A)	SOW-R-48 方向制御弁	33
(B)	BSS-8 サブプレート	34
(C)	配管部	34
(6)	RUN-210 アンロード弁	35
(7)	CRV-7U 高圧安全弁	36
15	電気回路図	37
16	高圧ホースの取扱い	38
17	高圧管、溶接継手	40

1 概 要

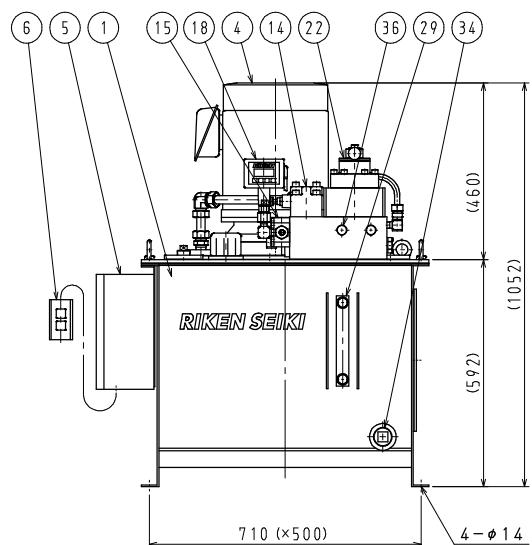
- 本機は、油圧アクチュエータ（シリンダ等）を作動させるための電動ポンプです。高圧、低圧、自動2段切換えになっており、回路圧力が6 MPaまでは高圧、低圧のポンプが働き、6 MPa以上になると低圧ポンプの油は低圧安全弁ベント回路がアンロード弁により開かれ、低圧安全弁からタンクへ戻り、高圧ポンプからの油のみが送り出されます。
- 屋内仕様になっていますので、雨水のかかる所では使用できません。
- 周囲温度は、0～40°Cの範囲でご使用ください。
- 本機に使用する油圧機器は、理研製品を選定してください。
- 高圧ホース、高圧管および継手等は、最高使用圧力70 MPaのものをご使用ください。
- 作動油が飛散した場合、重大な被害の生ずるおそれのある場所では使用できません。特に、けが、火災等の原因になりますので火気の近くでは使用しないでください。
- 本機は、消防法に適用していません。
- 方向制御弁（電磁切換弁）に使用のソレノイドは、電源電圧AC 200Vを標準としています。AC 100Vまたは他の電圧の場合はご指示ください。
- 他の目的に改造しないでください。

2 各部の名称及び説明

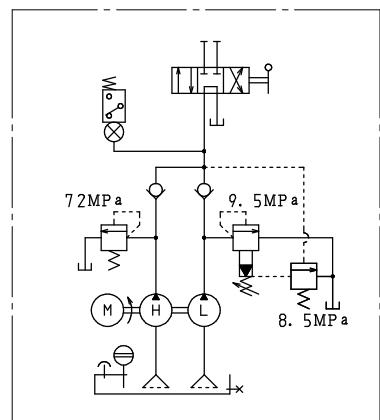
(1) MP-20C



仕様		
モータ	形式	
	出力 kW	15
電圧 V	200/220	
相数 φ	3相(線)	
極数 P	4	
周波数 Hz	50	60
回転数 r.p.m.	1500	1800
最高圧力 MPa	70	70
ポンプ 高圧時 吐出量 L/min	10.0	12.0
低圧時 最高圧力 MPa	6	6
	吐出量 L/min	70.0
タンク容量 L	230	
有効油量 L	140	
概略質量 kg	730	

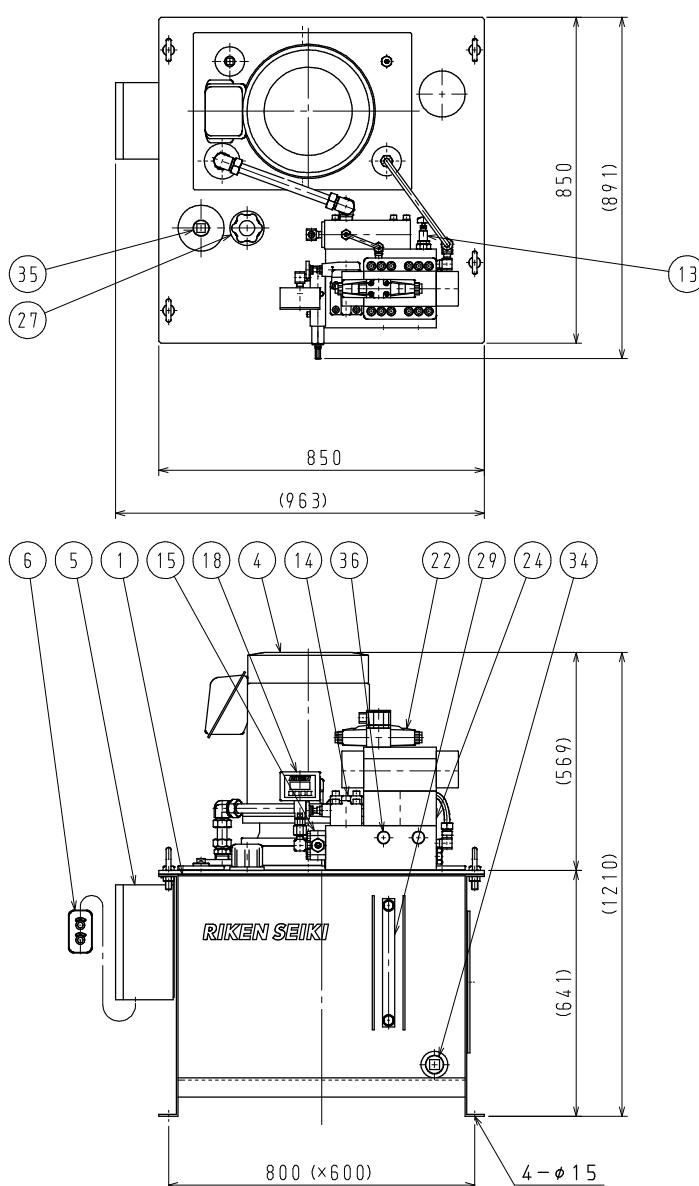


番号	部品名	備考
36	吐出口 R c 1	
35	戻り口 R c 1 1/4	
34	排油口 R c 1 1/2	
29	油面計	
27	エアブリーザ 給油口付	
22	方向制御弁 BHV-48	
18	圧力スイッチ DPGS-70	
15	アンロード弁 RUN-210	
14	低圧安全弁	
13	高圧安全弁 CRV-7U	
6	押ボタンスイッチ	
5	電磁開閉器	
4	モータ	
1	油タンク	



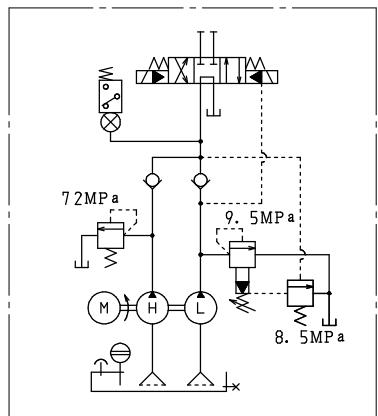
- # 1 油タンク
油圧回路の作動油を貯蔵する容器で、油量は油面計により確認できます。
- # 4 モータ
ポンプを駆動するための動力源です。
- # 5 電磁開閉器
モータを起動、停止するための開閉器で、# 6 押ボタンスイッチにより開閉し、過負荷継電器（サーマルリレー）により過負荷運転および拘束状態での異常電流によるモータの焼損を防止します。
- # 6 押ボタンスイッチ
電磁開閉器を開閉させ、モータを起動、停止するための押ボタンスイッチです。
- # 13 高圧安全弁 (C R V - 7 U)
機器や管等の破壊を防止するために最高圧力を限定するバルブです。出荷時は 7.2 MPa に設定されています。
- # 14 低圧安全弁
低圧回路の機器や管等の破壊を防止するため圧力を限定するバルブです。出荷時は 9.5 MPa に設定されています。
- # 15 アンロード弁 (R U N - 2 1 0)
設定圧力になると低圧安全弁のベント回路を開き、低圧ポンプからの吐出油を無負荷にて油タンクへ戻し、モータの過負荷運転を防止するバルブです。出荷時は 8.5 MPa に設定されています。
- # 18 圧力スイッチ (D P G S - 7 0)
設定圧力まで昇圧するとモータを停止させます。
- # 22 方向制御弁 (B H V - 4 8)
4 方 3 位置のロータリー式手動切換弁で、右側または左側にレバーを切換えて作動油の流れ方向を変え、中央位置では作動油をタンクへ戻します。
- # 27 エアブリーザ (給油口付)
油タンク内の空気を出入りさせるとともに、空気中のホコリが油タンク内に侵入するのを防止する保護器です。なお、給油のときはこのポートから行いますがゴミの侵入を防ぐために濾過器が付いています。
- # 29 油面計
作動油の量を目視で確認するレベルゲージです。
- # 34 排油口
油タンク内の作動油を排出するポートで、口径は管用テーパねじ R c 1 1/2 です。
- # 35 戻り口
作動油を外部から油タンクに戻すポートで、口径は管用テーパねじ R c 1 1/4 です。
- # 36 吐出口
作動油を外部に吐出するポートで、口径は管用テーパねじ R c 1 です。

(2) MP-20S



仕様		
モータ	形式	全閉外扇形
	出力 kW	15
ポンプ	電圧 V	200/220
	相数 φ	3相(線)
モータ	極数 P	4
	周波数 Hz	50 60
ポンプ	回転数 r.p.m.	1500 1800
	最高圧力 MPa	70 70
モータ	吐出量 L/min	9.0 11.0
	最高圧力 MPa	6 6
ポンプ	吐出量 L/min	70.0 84.0
	タンク容量 L	230
モータ	有効油量 L	140
	概略質量 kg	730

番号	部品名	備考
36	吐出口 Rc 1	
35	戻り口 Rc 1 1/4	
34	排油口 Rc 1 1/2	
29	油面計	
27	エアブリーザ	給油口付
24	サブプレート	BSS-8
22	方向制御弁	SOW-R-48 AC200V
18	圧力スイッチ	DPGS-70
15	アンロード弁	RUN-210
14	低圧安全弁	
13	高圧安全弁	CRV-7U
6	押ボタンスイッチ	
5	電磁開閉器	
4	モータ	
1	油タンク	



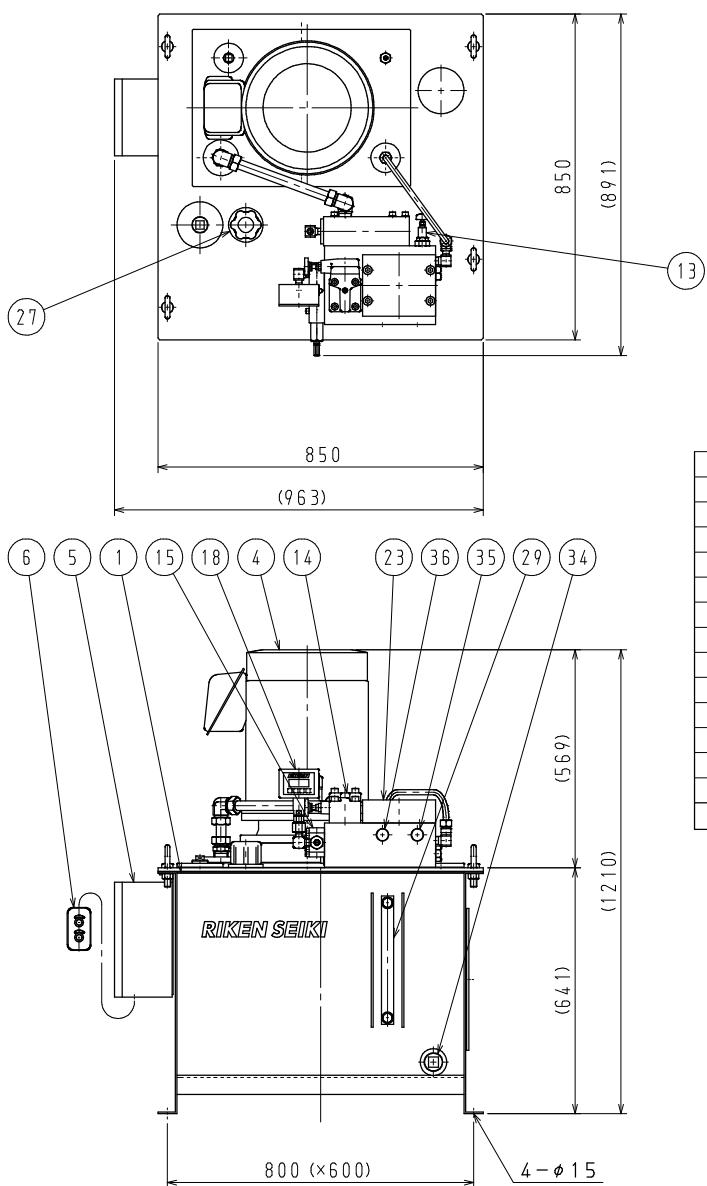
2.2 方向制御弁 (SOW-R-48)

4方3位置のスプール式電磁切換弁で、右側または左側のソレノイドを励磁して作動油の流れ方向を変え、中央位置では作動油を油タンクへ戻します。

2.4 サブプレート (BSS-8)

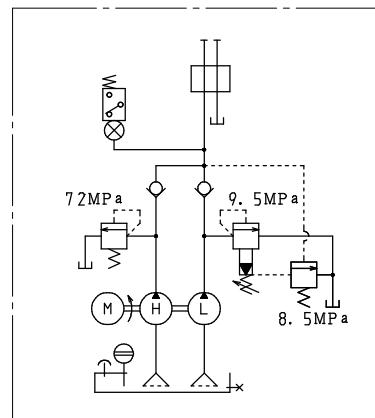
各種大型積層弁に電磁弁を積層するためのプレートです。

(3) MP - 20 TK



仕様		
モ タ タ	形式	全閉外漏形
	出力 kW	15
	電圧 V	200/220
	相数 φ	3相(線)
極数 P	4	
周波数 Hz	50	60
回転数 r. p. m.	1500	1800
ポンプ	最高圧力 MPa	70 70
	吐出量 L/min	10.0 12.0
低圧時	最高圧力 MPa	6 6
	吐出量 L/min	70.0 84.0
タンク容量 L		230
有効油量 L		140
概略質量 kg		710

36	吐出口	Rc 1
35	戻り口	Rc 1
34	排油口	Rc 1 1/2
29	油面計	
27	エアブリーザ	給油口付
23	取出口	TK-20
18	圧力スイッチ	DPGS-70
15	アンロード弁	RUN-210
14	低圧安全弁	
13	高圧安全弁	CRV-7U
6	押ボタンスイッチ	
5	電磁開閉器	
4	モータ	
1	油タンク	
番号	部品名	備考



23 取出口 (TK-20)

吐出口、戻り口を備えたブロックで外部に方向制御弁を取り付ける場合に使用し、左側ポートが吐出口で右側ポートが戻り口です。

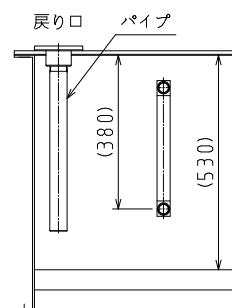
3 仕様

型式	MP-20C (フォーム H)
最高使用圧力	高压側 70 MPa 低压側 6 MPa
吐出量	高压側 10.0 / 12.0 L/min (50 / 60 Hz) {電磁弁使用時の高压側吐出量 9.0 / 11.0 L/min (50 / 60 Hz)} 低压側 70.0 / 84.0 L/min (50 / 60 Hz)
モータ	全閉外扇形 15 kW, 3相, AC 200V 50 / 60 Hz AC 220V 60 Hz, 4P
許容電圧変動	定格電圧 -5 ~ +10 %以内
周囲温度	0 ~ 40 °C以下
油タンク容量	230 L
有効油量	140 L
概略寸法	幅 963 × 奥行き 1043 × 高さ 1210
概略質量	730 kg
使用作動油	油圧作動油 ISO VG 46 (危険物 第4類第4石油類適用) (シェルルブリカンツジャパン シェル テラス S2 M46)

4 ご使用上の注意事項

- **⚠️ 警告** 吐出口プラグは、現品のままでは加圧できません。高圧用継手（ホース、カップラ）等に交換してから加圧してください。
- **⚠️ 警告** 本機の最高使用圧力は 70 MPa です。安全装置としての高圧安全弁は、出荷時 72 MPa に調整してありますので絶対これ以上に調整しないでください。なお、圧力スイッチは 70 MPa 以下でご使用ください。
- **⚠️ 警告** 最高使用圧力 70 MPa 未満の油圧機器をご使用の場合は、油圧機器の耐圧以下に高圧安全弁および圧力スイッチの設定を下げてご使用ください。下げる場合機器が破損します。設定については、ページ 18 「高圧安全弁の調整方法」を参照してください。
- **⚠️ 警告** 感電事故防止のため電気関係の保守点検は、必ず電源を遮断してから行ってください。
- **⚠️ 警告** 作動油の温度は、5 ~ 60 °C の範囲でご使用ください。これを超えた高温でのご使用は油圧機器の寿命を短くするとともに、油圧機器および作動油に触れた場合は火傷をするおそれがあります。油温上昇を防ぐにはオイルクーラをご使用ください。
- **⚠️ 注意** 作動油は、ISO VG 46（シェルルブリカンツジャパン シェル テラス S2 M46）を使用しています。リン酸エステル、水ーグリコール、W/Oエマルジョン系等は使用できません。パッキンの劣化、および機器の腐食等により故障します。ご使用の場合は、弊社にご連絡ください。油タンクへの給油は、油面計の上限を守ってください。
- **⚠️ 注意** 高圧安全弁は、リリーフ弁として使用しないでください。連続して使用する場合は、別にリリーフ弁を付けてください。

- 油圧ポンプの故障原因の多くはゴミの混入です。ポンプや付属機器を清潔に保ち異物の混入を防いでください。
- 作動油は、年 1 回以上交換してください。
- 方向制御弁（SOW-R-48）のソレノイドは、必ず一方を解磁してから他方を励磁し、両方同時に励磁しないでください。また 1 分間以上の連続通電は避けてください。ハイドロロック現象によりスプールが固着し、動かなくなることがあります。
- 方向制御弁（SOW-R-48）の切換頻度は、20 サイクル／分以下で使用してください。（1 サイクルとは左右のソレノイドをそれぞれ「入」「切」すること）
- 高電圧仕様または操作電源が異なる場合は、別途ご相談ください。
- 作動油を油タンク上面の戻り口に戻す場合は、継手とパイプを取り付け、油面計の下限まで戻してください。パイプで戻さないと作動油にエアが混入し、ポンプはエアを吸い込み昇圧しなくなります。使用する継手およびパイプは用意してありますので必要な場合は購入してください。
- 油面計が破損すると作動油が噴出しますので、物を当てないようにしてください。



5 設置方法

⚠ 注意 ポンプを吊り上げる場合は、4本のアイボルト（吊りボルト）が確実にねじ込まれていることを確認したのちに行ってください。
その際は、吊り具で機器を破損させないように気を付けてください。

- ポンプは安全な場所に水平に設置してください。高圧管にて配管する場合は、油タンク下部の取付け穴にて確実に固定してください。
- 電源電圧がモータの電圧と一致していることを確認してください。

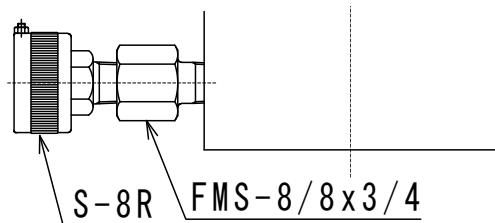
⚠ 警告 アースの接地を必ず行ってください。電磁開閉器金属ケース内および下面に接地端子があります。
感電事故防止のため必ず電気設備技術基準D種接地工事以上で接地してください。

● シリンダとの接続

ポンプとシリンダは、高圧ホースまたは高圧管にて接続してください。

(A) 高圧ホースにて接続の場合

使用する高圧ホースはH 8 / 8 -※FでカップラはS - 8 Hが付いています。よって接続するシリンダにS - 8 Rカップラが付いていない場合は、高圧メスオスケット等を使用して取り付けてください。



高圧ホースは通常ポンプ側に直接ねじ込み、シリンダ側はカップラ接続で使用します。高圧ホースの管用テープねじ部には、必ずテープシールを巻いてからねじ込んでください。

※テープシールの巻き方

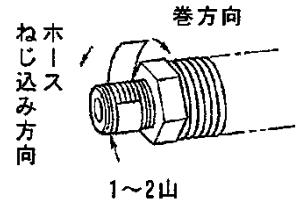
ねじ先端1～2山を残し図の方向に1～2重に巻いてください。

ねじ込みトルクは下記の値とします。

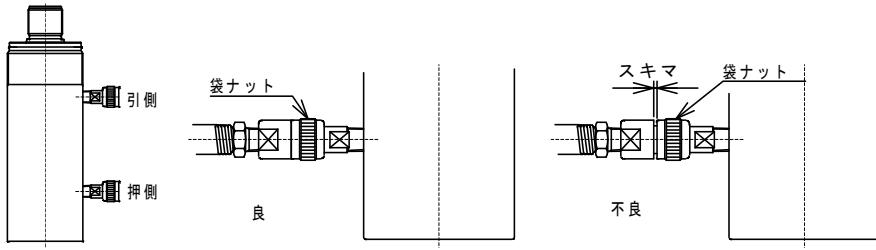
R 3 / 4 ————— 1 9 6 ~ 2 3 5 N · m

R 1 ————— 2 9 4 ~ 3 5 3 N · m

カップラを接続するときは、ゴミなどが付着していないことを確認してから接続してください。



⚠️警告 セルフシールタイプのカップラを使用する場合、袋ナットを根元まで完全に締めてください。図のように隙間があるとシリンダが作動しません。複動シリンダ使用の場合、引側のカップラが不完全な接続の状態で、押側に圧力をかけると引側に倍圧がかかり、カップラ、シリンダ、高圧ホースが破損や飛散し、人身事故を引き起こすことがあります。



高圧ホースの取扱については、ページ38を参照してください。

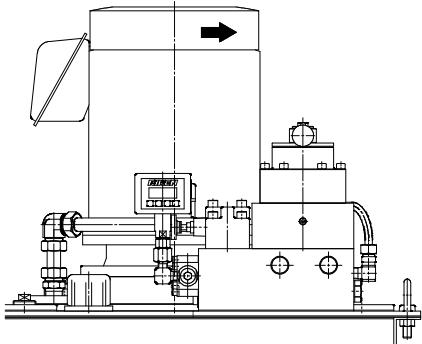
(B) 高圧管にて接続の場合

ページ40「高圧管、溶接継手」を参照してください。

- MP-20Sの標準タイプは、方向制御弁の配線はされていません。ページ16操作方法の項を参考にし、目的にあった回路となるように配線してください。

6 ご使用前の準備

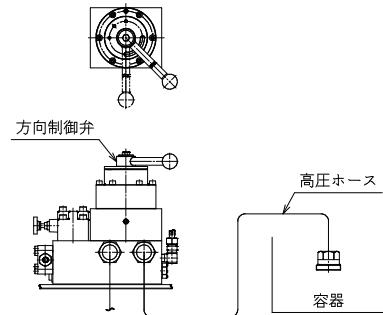
⚠ 注意 ポンプは、回転方向が決まっています。モータ側面に貼られている矢印方向（モータ上部から見て反時計方向）に回転することを確認してください。方向制御弁を中央位置にし、モータ起動用押ボタンスイッチを一瞬押して寸動させ、モータ上部のファンにて回転方向を確認してください。逆回転の場合は、3相の内2相を入れ替え再度確認してからご使用ください。逆回転のままで運転すると低圧ポンプが破損します。なお、逆回転の場合は低圧油は吐出しません。



- 配管内にエアが入っているとシリンダはスムーズに作動しませんので高圧ホース、高圧管内のエア抜きを行ってください。基本的には次の方法にて行います。

MP-20Cの場合

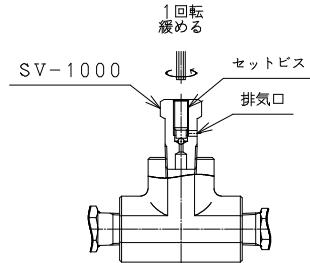
- (A) 高圧ホース使用の場合
- 大きめの容器をご用意ください。
 - 高圧ホース先端を容器に入れてください。
 - エア抜きを行う高圧ホース側に方向制御弁を切換えてください。
 - モータをインチング作動（寸動）してください。
 - 先端から作動油が出たらホース内の油が抜けないように、シリンダに接続してください。
 - 同様にもう一方の高圧ホースも行ってください。



(B) 高圧管使用の場合

高圧管にて配管を行う場合は、シリンダ近くの圧力損失が問題とならない場所にエア抜き弁（SV-1000）を取り付けてください。

- エア抜き弁のセットビスを1回転緩めてください。
- エア抜きを行う側に方向制御弁を切換えてください。



- c) **⚠ 注意** エア抜き弁脇の排気穴から作動油が出ますので、飛散しないようにウエス等で防止してください。

- モータをインチング作動（寸動）してください。
- エア抜き弁脇の排気穴から作動油が出たらエア抜きは完了です。
- エア抜き弁のセットビスを締めてください。
- 同様にもう一方の配管も行ってください。

※他の機種の場合も方向制御弁を操作し、同様に行ってください。

- シリンダ接続後、シリンダを数回往復動することによりシリンダ及び配管全体のエアを抜くことができます。（ページ15操作方法を参照してください。）

7 保守点検

(1) 稼動前の点検事項

(A) **⚠ 注意** 電源を切り、電源接続部の緩み、接続不良がないことを確認してください。
緩んでいる場合は締めてください。

- (B) 作動油の量が正常であるか、シリンダのピストンを戻した状態で油面計により目視で点検し、少ない場合は上限ラインまで入れてください。
- (C) 方向制御弁を中央位置にしてモータを起動し、5分間以上運転してその間に異常音、異常振動がないことを確認してください。
- (D) 方向制御弁を切換えてシリンダを動かし、加圧が可能であればそのまま昇圧して異常のないことを確認してください。
- (E) 配管、機器からの油漏れがないことを確認してください。漏れが発生した場合、原因を調査して処置してください。
- (F) その他、「ご使用上の注意事項」をお守りください。

(2) 稼働中の点検事項

下記項目を点検し、異常があったら直ちに運転を停止して処置してください。

- (A) バルブの作動、および圧力上昇の異常の有無。
- (B) 配管、および機器からの油漏れの有無。
- (C) 異常音、異常振動および異臭の有無。
- (D) 作動油の温度が5~60°Cの範囲内であるか。

⚠ 警告 高圧油が噴出しているところに手や身体を近づけないでください。

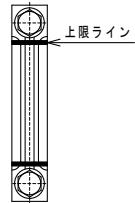
皮膚を貫通し、重傷を負うおそれがあります。

(3) 稼動後の点検事項

- (A) 電源は必ず切ってください。
- (B) 油漏れ、その他異常個所の有無を点検し、異常個所のある場合は原因を調査して処置してください。

(4) 作動油の交換について

- (A) 作動油は、年1回交換することを原則としますが、下記のような場合は、交換してください。
- a) 塵埃が混入したとき。
 - b) 悪臭がするとき。
 - c) 水分が混入し、乳白色になったとき。
 - d) 劣化して黒褐色になったとき。



⚠ 注意 作動油は、ISO VG 46 「(シェルルブリカンツジャパン シェル テラス S2 M46)」を使用しています。リン酸エステル、水ーグリコール、W/Oエマルジョン系等は使用できません。パッキンの劣化、および機器の腐食等により故障します。ご使用の場合は、弊社にご連絡ください。油タンクへの給油は、油面計の上限を守ってください。

- (B) 作動油を交換する場合は、油タンク内、サクションフィルタを洗浄してください。
- (C) 作動油の給油方法
油タンク上面のエアブリーバのキャップをはずして給油してください。
油面計上限ライン以上には入れないでください。

(D) **⚠ 警告** 作動油が目に入った場合は清浄な水で最低15分間洗浄した後、医師の手当を受けてください。また皮膚に付着した場合は水と石鹼で洗ってください。

(E) **⚠ 注意** 廃棄される廃油（作動油）は、産業廃棄物に該当しますので、自治体の許可を得ている産業廃棄物収集業者、または産業廃棄物処理業者に委託し、廃棄してください。

8 圧力スイッチの説明

(1) 仕様

形式	D P G S - 7 0
最高使用圧力	7 0 M P a
計測（表示）レンジ	0. 0 ~ 1 0 0. 0 M P a
電源	A C 8 5 ~ 2 6 4 V
オーバーレンジ警告	計測限界値で点滅
非直線性	± 1 % R. C. (a t 2 5 °C)
ヒステリシス	± 1 % R. C. (a t 2 5 °C)
表示速度	2. 5 回／秒
サンプリング速度	5 0 回／秒
接点容量	A C 2 5 0 V / 3 A (抵抗負荷)
差圧設定範囲	0 ~ 6 9. 9 M P a
使用周囲温湿度	0 ~ 5 0 °C、3 5 ~ 8 5 % R. H. 結露不可
接続ねじ	M 1 4 × 1. 5

(2) 出荷時の設定

設定圧力	7 0 M P a
差圧	5 M P a
出力動作	上限比較反転出力

出荷時上記で設定してあります。変更の場合は（5）項「設定変更方法」により行ってください。但し、出力動作の設定を変更するとポンプが起動しなくなるので変更しないで下さい。

(3) 取扱い方法

設定圧力まで圧力が上昇するとモータは全停止します。再起動は設定差圧（出荷時 5 M P a に設定）まで圧力が下降したのち、押ボタンスイッチ（P B 1）にて行ってください。

安全装置として使用する場合は、設定圧力を使用圧力より 3 ~ 5 M P a 高く設定してください。

ポンプ稼動前に設定が適切であるか確認してください。

(4) ゼロ調整

圧力が加わっていない状態で表示が [0. 0] でない場合は、ゼロ調整してください。□を 3 秒以上押し続けると表示が [0. 0] となり調整されます。残圧がないことを確認してから調整してください。残圧が加算されますので注意してください。

(5) 設定変更方法

[E] を押したまま [M] を 1 秒押すと設定モードになります。

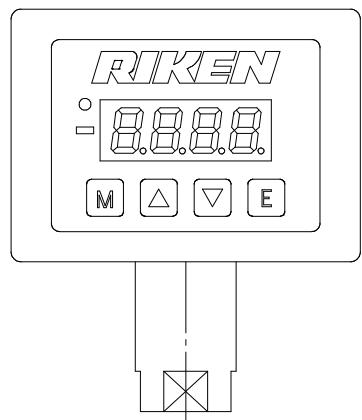
次に [M] を押すたびに設定項目が変わりますので、項目を選んで変更してください。すべての変更が完了したら [E] を押してください。記憶され計測モードに戻ります。押さないと設定モードのままになっています。

(A) 設定圧力

[E] を押したまま [M] を押すと [~~SEt~~] と一瞬表示した後、現在の設定圧力を表示します。変更の場合は □ ▽ で指定してください。

(B) 差圧

設定圧力表示からもう一度 [M] を押すと [~~HgP~~] と一瞬表示した後、現在の差圧を表示します。変更の場合は □ ▽ で指定してください。



(C) 出力動作

差圧表示からもう一度[M]を押すと [**L**o**G**] と一瞬表示した後、現在の出力動作を表示します。

- [**H**o] 上限比較
- [**L**o] 下限比較
- [**H**o **反转**] 上限比較反転出力
- [**L**o **反转**] 下限比較反転出力

変更の場合は必要とする出力動作が表示するまで[△]を数回押してください。

※ 5 MPa 以下の設定圧力でご使用の場合は、差圧を設定圧力以下にしてください。差圧の方が大きいと設定圧力で停止したまま再起動しません。

(6) 設定の確認

[M]を3秒押し続けてください。設定圧力が表示されます。その後[M]を押すたびに差圧、出力動作、設定圧力と表示しますので確認してください。確認終了後[E]を押してください。



警告 ポンプ運転中は設定モードにしないでください。設定モードにするとモータは停止し、[E]を押すと起動するため、誤作動により事故になるおそれがあります。

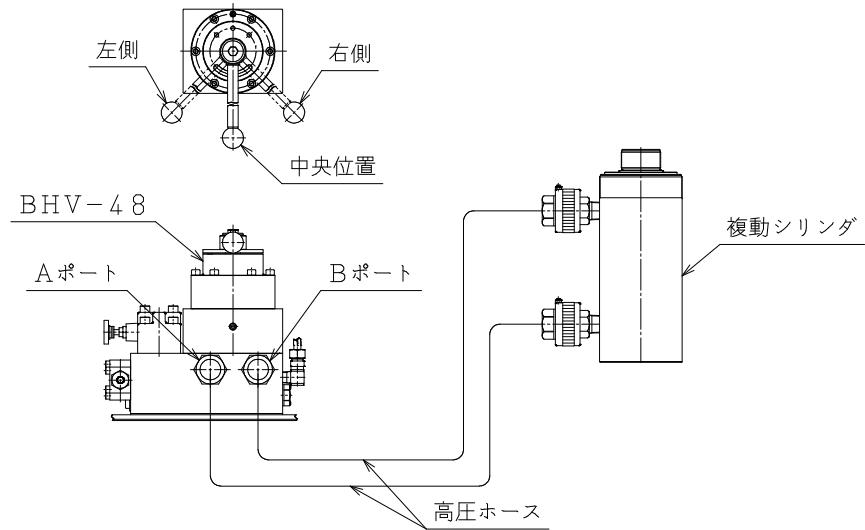
(7) ノイズについて

表示圧力が時々変動したり異なる数値を表示するなど一定しない場合は、ノイズの影響が考えられます。ノイズの発生源を調査し対策してください。

9 操作方法

(1) MP-20C

方向制御弁は4方3位置手動切換弁（BHV-48）が付いています。中央位置では、ポンプから吐出された作動油は油タンクへ戻ります。ポンプ正面から見て、左側に切換えるとAポートに吐出し、右側に切換えるとBポートに吐出します。



複動シリンダ使用例

Aポート押側、Bポート引側の区別はありませんが上図のように、Aポートを押側に、Bポートを引側に接続した場合。

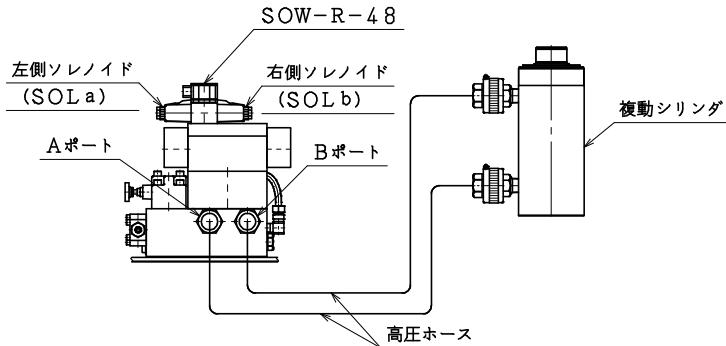
- (A) 方向制御弁のレバーを中央位置にしてください。
- (B) 押ボタンスイッチ（P B）‘ON’を押してモータを起動してください。
- (C) 方向制御弁のレバーを左側に切換えてください。
- (D) ピストンは出て行き、昇圧し、作業を行います。
- (E) 圧力スイッチ設定圧まで昇圧すると、モータは停止します。
- (F) レバーを中央位置にすると、圧力は下がります。
- (G) ピストンを戻す場合は、押ボタンスイッチ（P B）‘ON’を押してモータを起動し、レバーを右側に切換えてください。
- (H) 戻りきったら、レバーを中央位置にしてください。
- (I) 作業終了時はピストンを戻して方向制御弁を中央位置にし、押ボタンスイッチ（P B）‘OFF’を押してモータを停止してください。高圧ホース内の残圧を抜くために方向制御弁のレバーを左右に一度づつ操作してください。

※方向制御弁（BHV-48）の切換え過渡期に、A、Bポートの圧力はゼロに下がります。

※異常が発生した場合は、直ちに方向制御弁を中央位置にし、押ボタンスイッチ（P B）‘OFF’を押してモータを停止してください。

(2) M P - 2 0 S

方向制御弁は4方3位置電磁切換弁（SOW-R-48）が付いています。中央位置では、ポンプから吐出された作動油は油タンクへ戻ります。ポンプ正面から見て右側ソレノイド（SOL b）を励磁するとAポートに吐出し、左側ソレノイド（SOL a）を励磁すると、Bポートに吐出します。

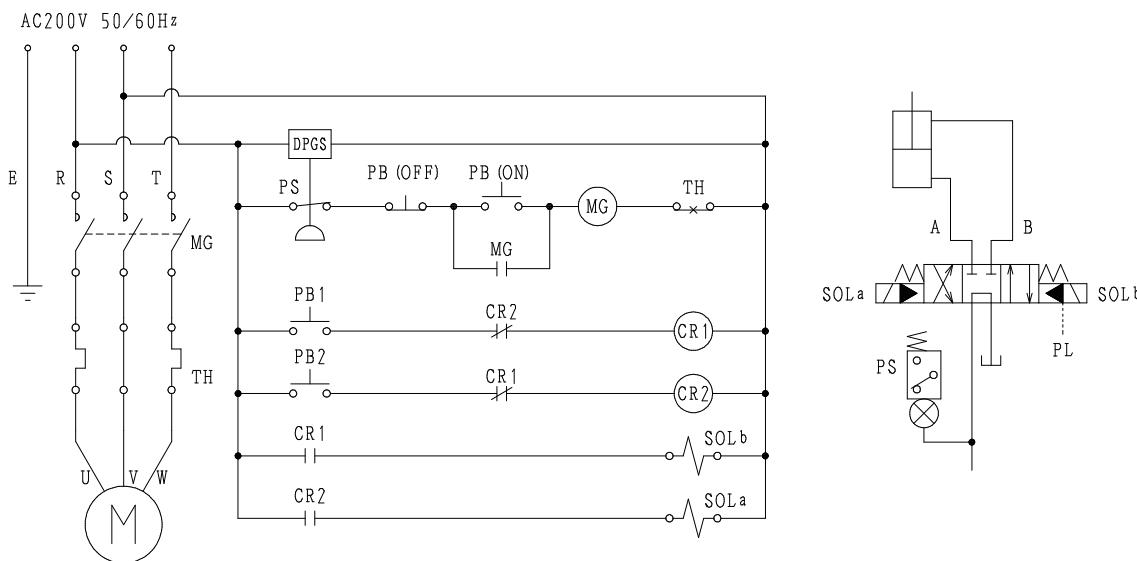


複動シリンダ使用例（参考）

操作用押ボタンスイッチ2個により複動シリンダを操作する一例であり、押している間のみピストンは作動します。上図のようにAポートをシリンダ押側に、Bポートを引側に接続し、電器回路を構成してください。

*ポンプ正面から見て右側ソレノイドがSOL b、左側ソレノイドがSOL aとなっています。

※右側ソレノイド（SOL b）を励磁するとAポートから吐出し、左側ソレノイド（SOL a）を励磁するとBポートから吐出となります。各ソレノイドとポート口の位置関係に注意願います。



- (A) 方向制御弁を中央位置にしてください。
 - (B) 押ボタンスイッチ (P B) ‘ON’ を押してモータを起動してください。
 - (C) 操作用押ボタンスイッチ (P B 1) を押し、右側ソレノイドを励磁してください。押している間ピストンは出て昇圧し、離すと止まります。
 - (D) ピストンを戻す場合は、操作用押ボタンスイッチ (P B 2) を押して左側ソレノイドを励磁してください。押している間ピストンは戻り、離すと止まります。
 - (E) 作業終了時はピストンを戻してください。このとき、Bポート側（戻り側）高压ホースに残圧がある場合は右側ソレノイドを励磁してピストンを数mm出し、残圧を抜いた後、押ボタンスイッチ (P B) ‘OFF’ を押してモータを停止してください。

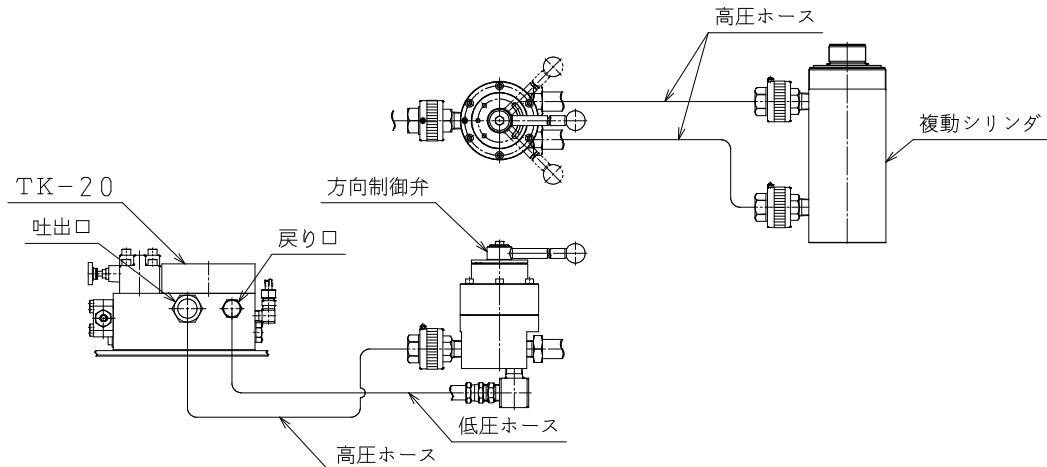
※方向制御弁 (SOW-R-48) は、スプールタイプのため内部リークがあり、圧力保持はできません。

※異常が発生した場合は、直ちに方向制御弁を中央位置にし、押ボタンスイッチ (P B) ‘OFF’ を押してモータを停止してください。

(3) MP-20TK

ポンプから方向制御弁を離して取り付ける場合のポンプで、左側ポートが吐出口で、右側ポートが戻り口です。

警告 方向制御弁から戻り口への配管は、抵抗を少なくするためユニオン付低圧ホースを使用し、セルフシールタイプのカップラは絶対に使用しないでください。セルフシールタイプのカップラが詰まると方向制御弁が破損し、けがをするおそれがあります。



- (A) 外部に取り付けた方向制御弁を中央位置にしてください。
 - (B) 押ボタンスイッチ (P B) ‘ON’ を押してモータを起動してください。
 - (C) 方向制御弁を操作してピストンを作動し、所定の作業を行ってください。方向制御弁の操作方法についてはMP-20C、MP-20Sの項を参照してください。
 - (D) 作業終了時はピストンを戻し、押ボタンスイッチ (P B) ‘OFF’ を押してモータを停止してください。高圧ホースに残圧がある場合は方向制御弁を操作して残圧を抜いてください。
(操作方法についてはMP-20C、MP-20Sの項を参照してください。)
- ※異常が発生した場合は、直ちに方向制御弁を中央位置にし、押ボタンスイッチ (P B) ‘OFF’ を押してモータを停止してください。

10 高圧安全弁の調整方法

出荷時は 72 MPa に調整されています。再調整する場合は、下記の要領にて調整してください。

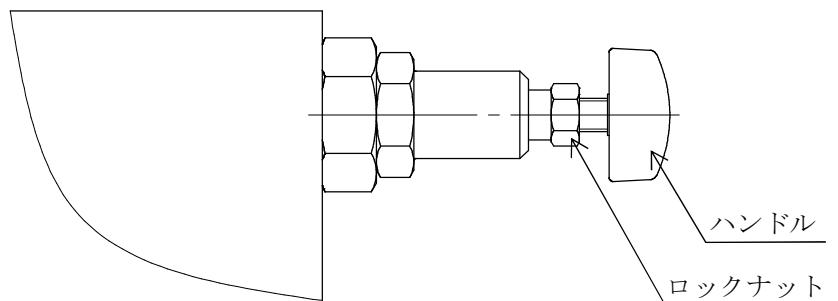
- (1) モータを停止し、方向制御弁を中央位置にしてください。
- (2) 高圧安全弁部ロックナットを緩め、ハンドルを反時計方向に廻して緩めてください。
- (3) 吐出口の高圧ホース（または継手）をはずし、六角穴付きプラグを取り付けてください。
- (4) 圧力スイッチの設定圧力を 75 MPa にしてください。
- (5) モータを起動してください。
- (6) 方向制御弁を加圧可能なポート側に切換えてください。
- (7) 圧力スイッチの表示を見ながらハンドルを時計方向に徐々に廻して圧力を上昇させ、使用する圧力より 3~5 MPa 高く設定してください。
- (8) 方向制御弁を中央位置にしてください。
- (9) 方向制御弁を切換えて 2~3 回昇圧させ、設定通りの圧力であるか確認してください。
- (10) 圧力スイッチを使用する圧力に設定し直してください。
- (11) 吐出口のプラグをはずし、高圧ホース（または継手）を接続してください。
- (12) ロックナットを締めてください。

**!
警告** 本機の最高使用圧力は 70 MPa です。安全装置としての高圧安全弁は、出荷時 72 MPa に調整してありますので絶対これ以上に調整しないでください。なお、圧力スイッチは 70 MPa 以下でご使用ください。

**!
警告** 最高使用圧力 70 MPa 未満の油圧機器をご使用の場合は、油圧機器の耐圧以下に高圧安全弁および圧力スイッチの設定を下げてご使用ください。下げないと機器が破損します。

※圧力スイッチは高圧安全弁の設定より必ず 3~5 MPa 低く設定し、安全弁が連続作動しないようにしてください。

※六角穴付きプラグおよび高圧ホースの管用テープねじ部には、必ずテープシールを巻いてねじ込んでください。ページ 9 「テープシールの巻き方」参照。



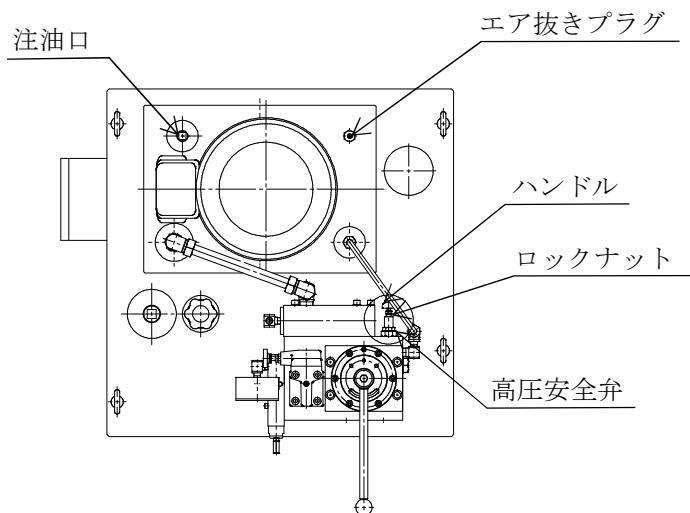
1.1 低圧安全弁、アンロード弁の調整について

出荷時、低圧安全弁は9.5 MPa、アンロード弁は8.5 MPaに設定しておりますので、再調整しないでください。不用意に調整ねじを廻した場合、あるいは不具合により分解し、再調整が必要の場合は販売店に資料を請求してください。

1.2 ポンプのエア抜きについて

作動油の交換時や、作動油が不足してポンプがエアを吸った場合は、ポンプ内にエアが混入して昇圧しなくなったり、脈動が発生します。このような場合は、下記により呼び油を入れてエア抜きを行ってください。

- (1) モータを停止し、方向制御弁を中央位置にしてください。
- (2) ポンプ取付板上面の注油口プラグ（R 3/4）、エア抜きプラグ（R 1/8）をはずしてください。
- (3) 注油口に約1.5 Lの作動油を入れてください。
- (4) 注油口プラグ、エア抜きプラグにテープシールを巻いて取り付けてください。
- (5) 高圧安全弁部ロックナットを緩め、ハンドルを反時計方向に廻し緩めてください。
- (6) 吐出口の高圧ホース（または継手）をはずし、六角穴付きプラグを取り付けてください。
- (7) 押ボタンスイッチにより10回位起動、停止を繰り返し、モータをインチング作動してください。このとき、モータが完全に停止してから起動するところがポイントです。
- (8) 圧力スイッチの設定を75 MPaにしてください。
- (9) モータを起動してください。
- (10) 方向制御弁を加圧可能なポート側に切換えてください。



- (11) 圧力スイッチの表示を見ながら高圧安全弁部ハンドルを時計方向に徐々に廻して圧力を上昇させ、使用する圧力より3～5 MPa高く設定してください。
- (12) 方向制御弁を切換えて2～3回昇圧させ、圧力上昇が順調であれば、エア抜きは完了です。圧力が脈動する場合はエアが抜けていないので、再度ハンドルを緩めて(7)以降を行ってください。
- (13) 圧力スイッチを使用する圧力に設定し直してください。
- (14) 吐出口のプラグをはずし、高圧ホース（または継手）を接続してください。
- (15) 高圧安全弁部ロックナットを締めてください。

⚠️ 警告 本機の最高使用圧力は70 MPaです。安全装置としての高圧安全弁は、出荷時72 MPaに調整してありますので絶対これ以上に調整しないでください。なお、圧力スイッチは70 MPa以下でご使用ください。

⚠️ 警告 最高使用圧力70 MPa未満の油圧機器をご使用の場合は、油圧機器の耐圧以下に高圧安全弁および圧力スイッチの設定を下げてご使用ください。下げないと機器が破損します。

- ※ 圧力スイッチは高圧安全弁の設定より必ず3～5 MPa低く設定し、安全弁が連続作動しないようにしてください。
- ※ 六角穴付きプラグおよび高圧ホースの管用テープねじ部には、必ずテープシールを巻いてねじ込んでください。ページ9「テープシールの巻き方」参照。

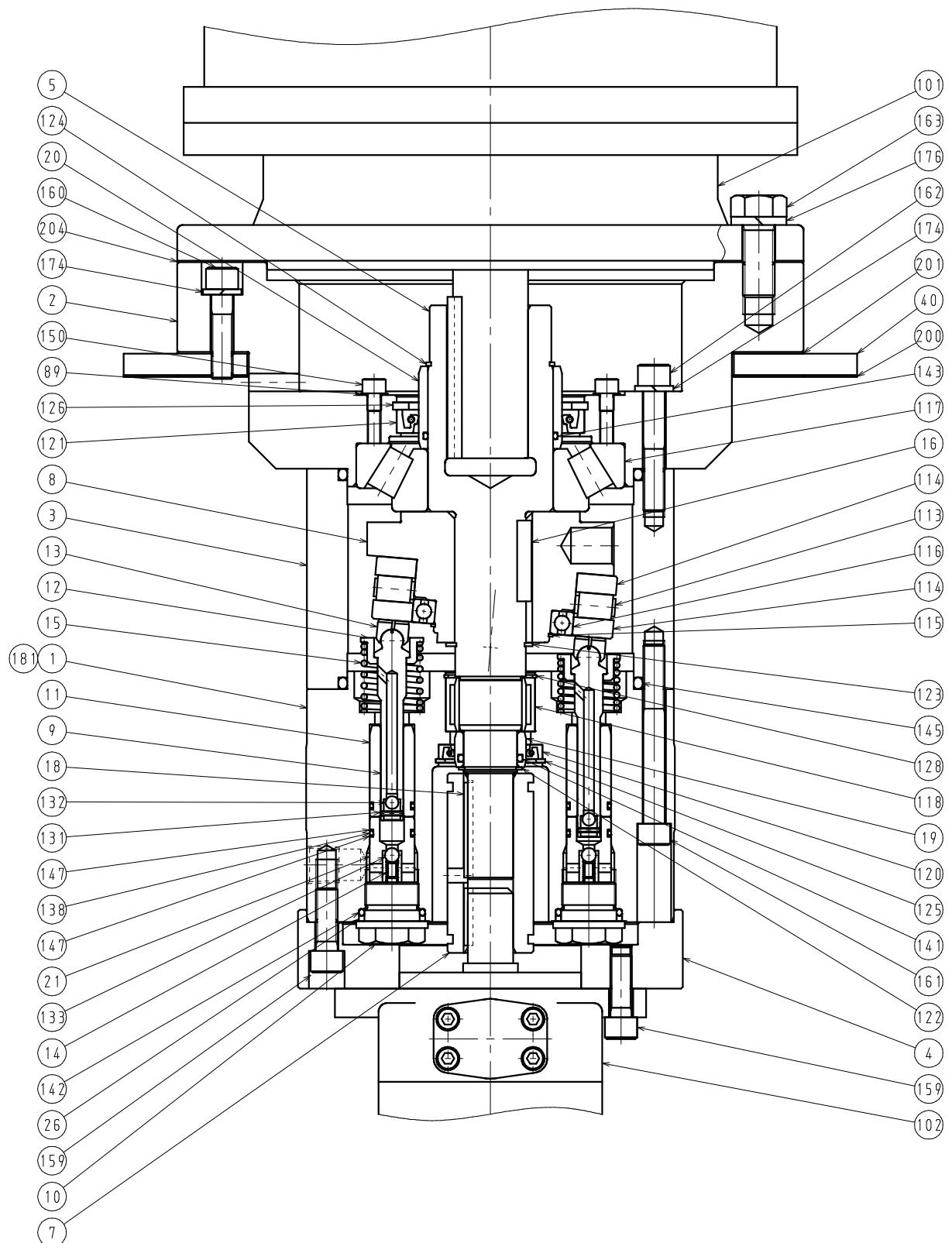
1.3 故障の解説

状 態	原 因	処 置
モータが回らない。	異常結線のとき。 電源コード4線の内1線のアース線を間違い、電源側に接続した。	感電事故につながりますので、すぐに電源を切り、配線確認を行ってください。
	操作線の断線。 押ボタンスイッチの破損	テスターにて正規電圧が電磁開閉器までできているか測定し、そのトラブル箇所を突き止めてください。
	端子ねじの緩み、電磁開閉器の接触不良。	原因を突き止めたら、部品の交換、ねじの締め付けを行ってください。
	動力回路、接続機器の絶縁不良。	電源オフ状態で一次側電源、モータおよび接続機器の絶縁測定を行ってください。 (DC 500メガにて100MΩ以上)
	過負荷運転、単相結線、電圧降下状態で運転を続け、過大な電流が流れ、過負荷継電器が働いた。	原因を突き止め処置した後、過負荷継電器のリセットボタンを押してください。
モータは回転するが力がない。また正常回転でない。	圧力スイッチの設定不良、または破損。	設定を確認してください。設定不良でない場合は交換してください。
	電圧低下。 電圧はポンプ停止中は正常であっても運転すると下がることがあります。	電源からポンプまでの電線が長く細い場合に起こることが多いので太い電線に交換してください。電圧低下は定格電圧の5%以内とします。
	作動油不足。	作動油の有無を油面計で確認し、不足の場合は補充してください。
モータは回転するが圧力が上がりらない。 また上がり方が正常でない。	エアの混入。 ポンプの移設後、または作動油不足で補給をした場合は、ポンプ内にエアが混入して圧力が上がりないとことがあります。	ポンプのエア抜きを行ってください。 (ページ20参照)
	サクションフィルタの目詰まり。 目詰まりを起こすとポンプに騒音が出るとともに、吐出量が減ります。	サクションフィルタを洗浄し、作動油を交換してください。
	使用圧力より高圧安全弁の設定が低い。	高圧安全弁を72MPaに設定してください。低い圧力で使用の場合は、使用圧力より3~5MPa高く設定してください。

状態	原因	処置
モータは回転するが圧力が上がりない。 また上がり方が正常でない。	高压ポンプの破損。 ポンプ内に異常音があり、圧力が脈動する場合は、ポンプが破損しています。	販売店に修理を依頼してください。
	方向制御弁の故障。 ・バルブに傷がある。 ・パッキン類の破損。	販売店に修理を依頼してください。
方向制御弁（SOW-R-48）が作動しない。	スプールの傷またはハイドロロック現象による、スプールの固着。	販売店に修理を依頼してください。
	電圧違いによるコイルの損傷。	電圧に合ったコイルと交換してください。
	コイルの断線、接続不良。	コイル、接続部の導通を調べてください。断線している場合は、コイルを交換してください。
シリンダピストンの出および戻りが遅い。	配管抵抗が大き過ぎ、低圧油が吐出していない。	太い配管に交換してください。
シリンダの押し、引きとも圧力が上がりない。	シリンダのピストンパッキンの破損。	販売店に修理を依頼してください。
油温の上昇が激しい。	周囲頻度が激しい。 周囲温度が高い。	クーラを取り付けて60°C以下で使用してください。
	ポンプ内部で油漏れがある。	販売店に修理を依頼してください。

1 4 内部構造図、部品表

(1) MP-20C ポンプ部

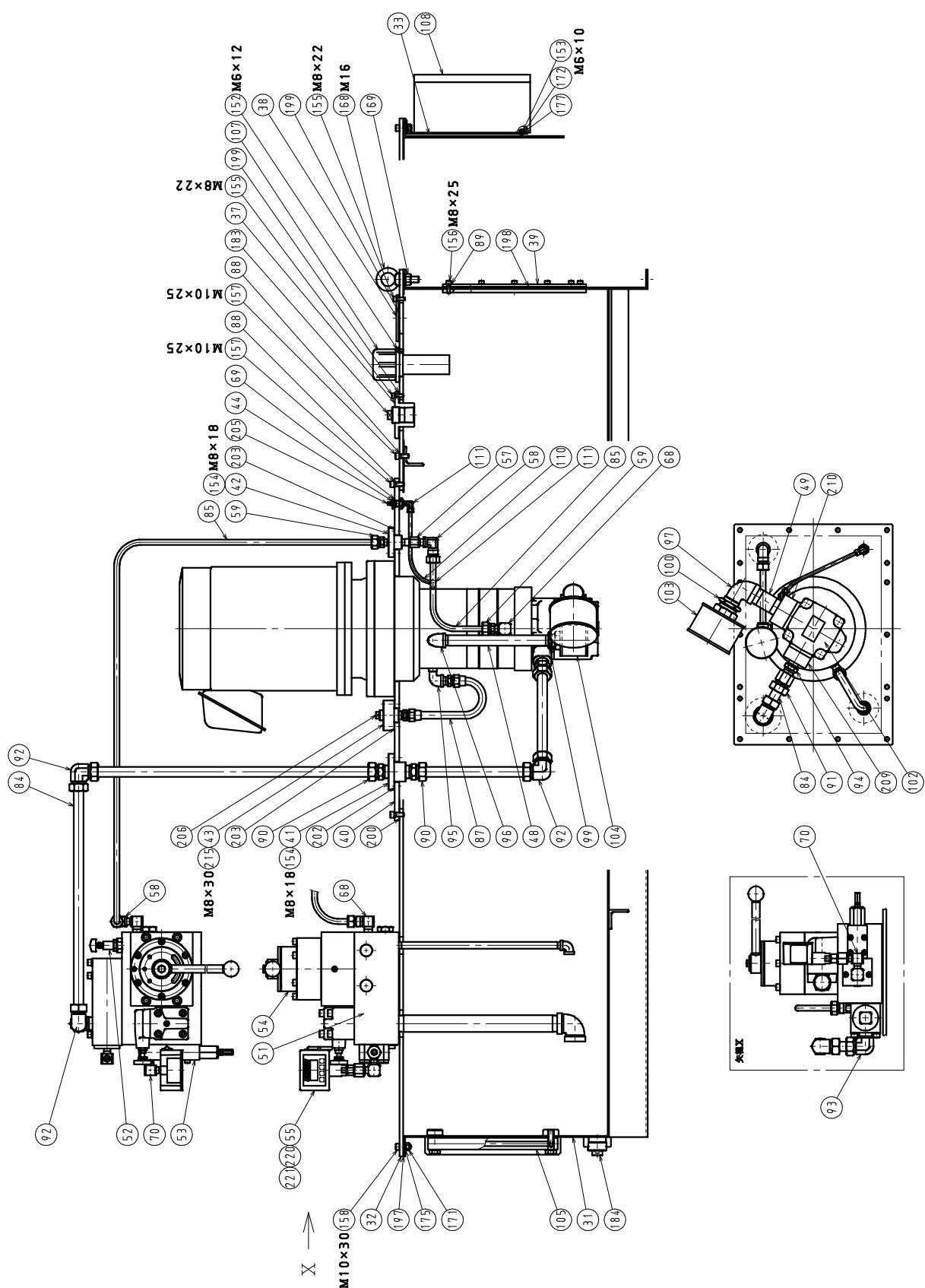


MP-20C ポンプ部 部品表 (1)

部番	名 称	個数	備 考
1	ポンプ本体	1	
2	モータ取付フランジ	1	
3	ケース	1	
4	低圧ポンプ取付板	1	
5	軸	1	
7	低圧ポンプ軸継手	1	
8	カム	1	
9	ピストン	7	
10	栓	7	
11	ピストンライナー	7	
12	スプリング受金	7	
13	自在玉受メタル	7	
14	スプリング	7	
15	スプリング	7	
16	キー	1	
18	キー	1	
19	軸用ブッシュ	1	
20	軸用ブッシュ	1	
21	逆止弁本体	7	
26	ナイロンリング	7	
40	ポンプ取付板	1	
89	銅ワッシャ	2	$\phi 8.2 \times \phi 15.0 \times t 1.0$
101	モータ	1	15kW
102	ベーンポンプ	1	油研:PV2R2-47-F-LA-L-41
113	スラスト円筒ころ軸受	1	NTN:K81218J
114	スラスト円筒ころ軸受	2	NTN:WS81218
115	止め輪	1	NTN:WR65
116	深みぞ玉軸受	1	6913
117	円すいころ軸受	1	30314D
118	保持器付針状ころ軸受	1	NTN:NK40/30+IR35×40×30
120	オイルシール	1	NOK:SC40588
121	オイルシール	1	NOK:SC8010513
122	C形止め輪	1	軸用 30
123	C形止め輪	1	軸用 40
124	C形止め輪	1	軸用 45
125	C形止め輪	1	穴用 58
126	C形止め輪	1	穴用 105
128	軸受用止め輪	1	NTN BR50
131	スプリングピン	7	$\phi 2.5 \times 14$
132	スチールボール	7	9/32 (7.1438)
133	スチールボール	7	5/16 (7.9375)
138	Oリング	14	P21
141	Oリング	1	P30
142	Oリング	7	P31
143	Oリング	1	G70
145	Oリング	2	G160
147	バックアップリング	28	P21 用(スペイナル 1巻)
150	六角穴付きボルト	2	M8×10
159	六角穴付きボルト	8	M12×35
160	六角穴付きボルト	6	M12×50
161	六角穴付きボルト	7	M12×100
162	六角穴付きボルト	6	M12×70
163	六角ボルト	4	M18×45
174	ばね座金	12	M12 用

MP-20C ポンプ部 部品表 (2)

(2) MP - 20C 油タンク、配管関係

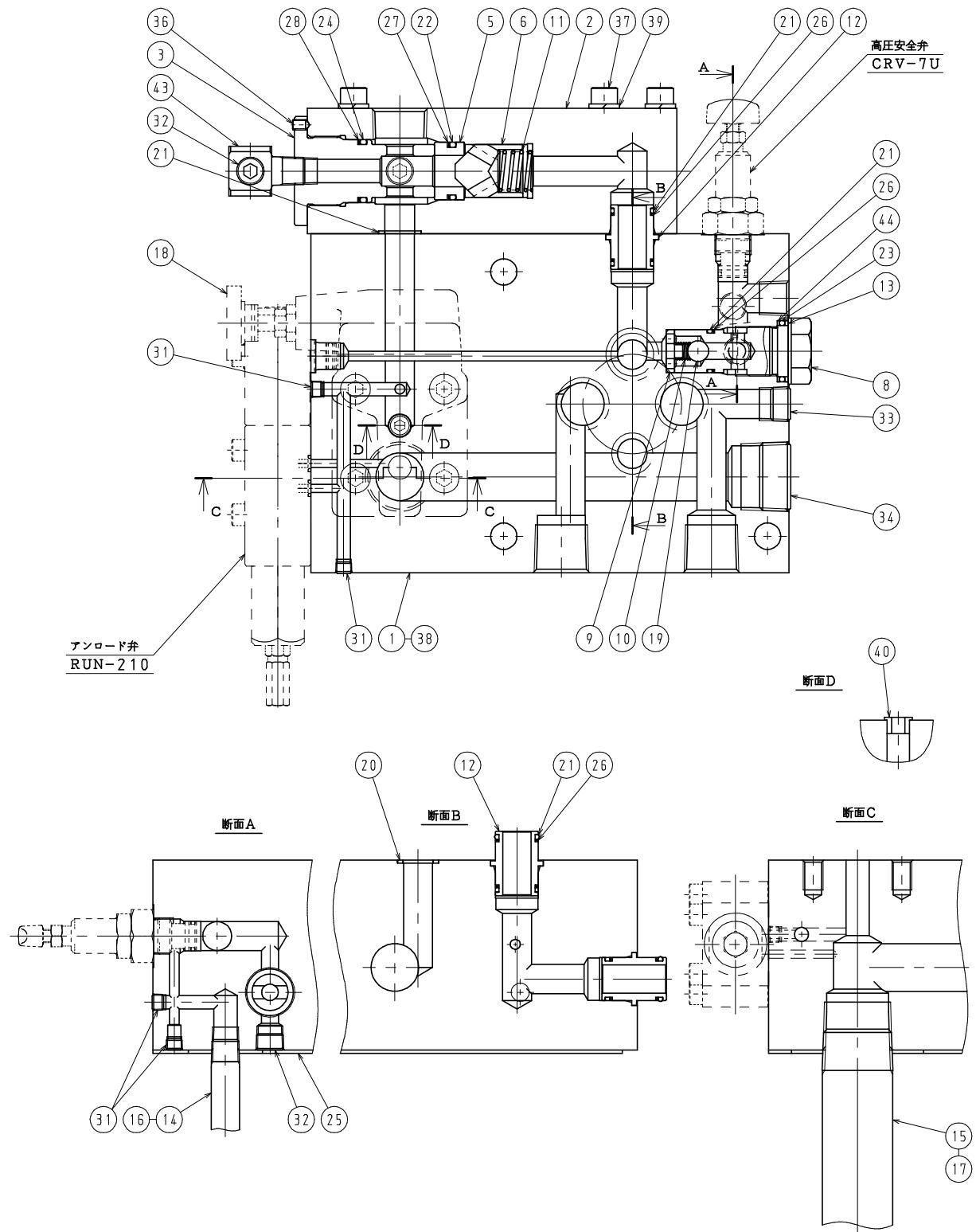


MP-20C 油タンク、配管関係 部品表（1）

部番	名 称	個数	備 考
31	油タンク	1	
32	油タンク上蓋	1	
33	電磁開閉器取付板	1	
37	戻り口フランジ	1	
38	戻り口カバー	1	
39	油タンク窓蓋	1	
40	ポンプ取付板	1	
41	フランジ(A)	1	
42	フランジ(B)	1	
43	フランジ(C)	1	
44	エア抜き継手	1	
48	高圧吸込パイプ	1	
49	低圧吸込パイプ	1	
51	取出口	1	BPS-81
52	リリーフ弁	1	CRV-7U
53	アンロード弁	1	RUN-210
54	方向制御弁	1	BHV-48
55	圧力スイッチ	1	DPGS-70
57	Rc×R3/8 メスオスソケット	1	
58	スタッドエルボ	2	SL-1/4
59	スタッドユニオン	2	SU-1/4
68	Rc3/8×R1/2 径違いメスオスエルボ	2	
69	銅ワッシャ	1	φ 16.5×φ 24×1
70	Rc×R3/8 メスオスエルボ	2	
84	低圧パイプ	1	
85	高圧パイプ	1	FEP-1/4
87	裸フレキホース	1	
88	銅ワッシャ	16	φ 10.2×φ 15×1
89	銅ワッシャ	12	φ 8.2×φ 15.0×t 1.0
90	NE形継手コネクタ(おす)	2	イハラ:KCT25-080E
91	NE形継手コネクタ(めす)	1	イハラ:KSA25-060E
92	NE形継手エルボ	3	イハラ:KLA25-000E
93	NE形継手エルボニップル	1	イハラ:KLN25-080E
94	ねじ込み継手ニップル	1	イハラ:SNP06-000F
95	鋳物メスオスエルボ	1	1/2
96	鋳物メスオスエルボ	1	3/4
97	鋳物メスオスエルボ	1	1 1/4
99	鋳物ブッシング	1	1×3/4
100	鋳物ブッシング	1	1 1/2×1 1/4
102	ベーンポンプ	1	油研:PV2R2-47-F-LA-L-41
103	ストレーナ	1	大生:SFT-12
104	ストレーナ	1	大生:SFT-08
105	油面計	1	
107	給油口付エアブリーバ	1	増田:MSA-C50T
108	電磁開閉器	1	
110	シンフレックスチューブ	1	ニッタ:N2-1 5/16
111	エルボ	2	ニッタ:L1N5/16-PT1/8
152	六角穴付きボルト	3	M6×12
153	十字穴付きなべ小ねじ	3	M6×10
154	六角穴付きボルト	6	M8×18
155	六角穴付きボルト	6	M8×22

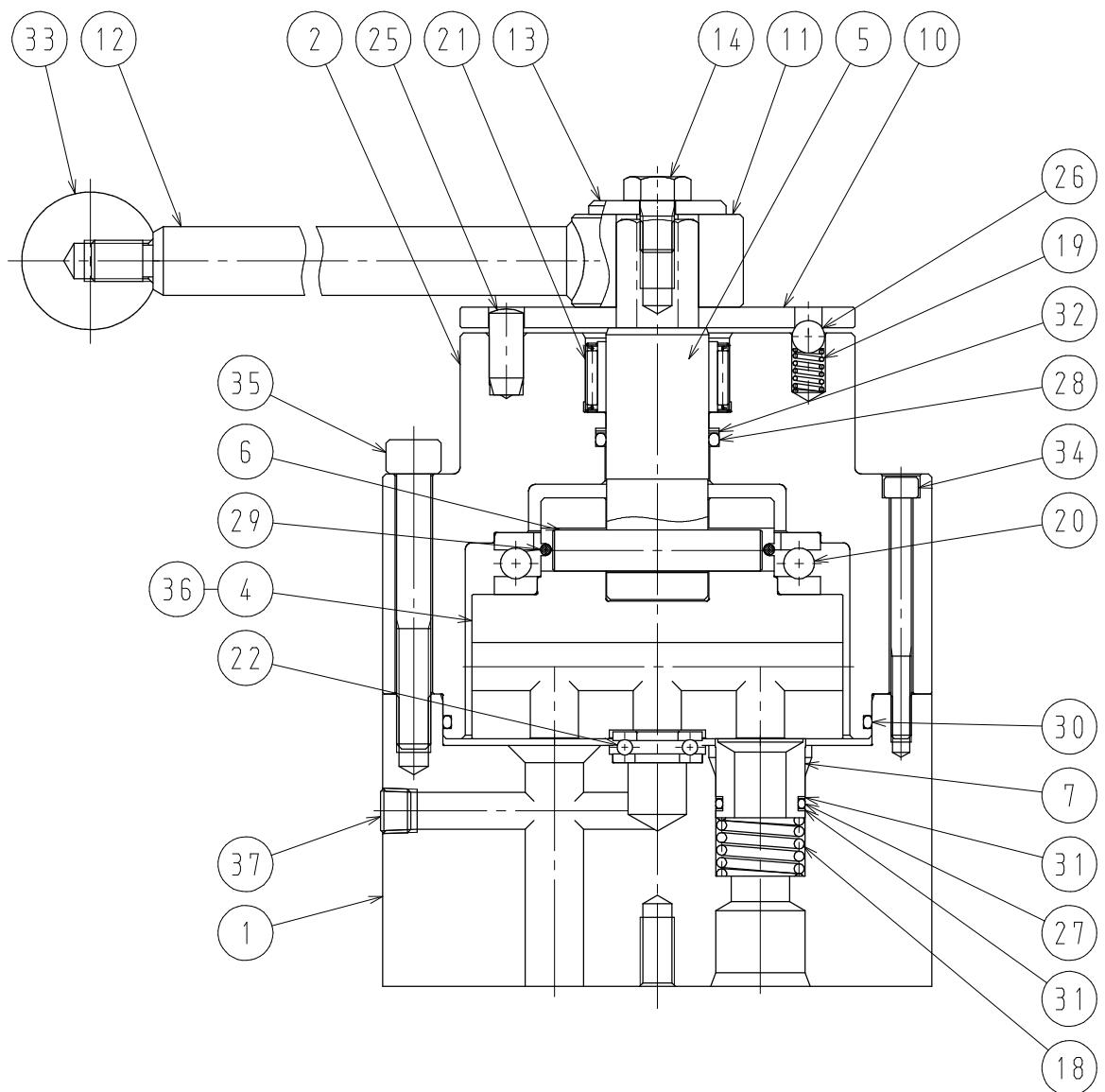
MP-20C 油タンク、配管関係 部品表 (2)

(3) B P S - 8 1 バルブブロック



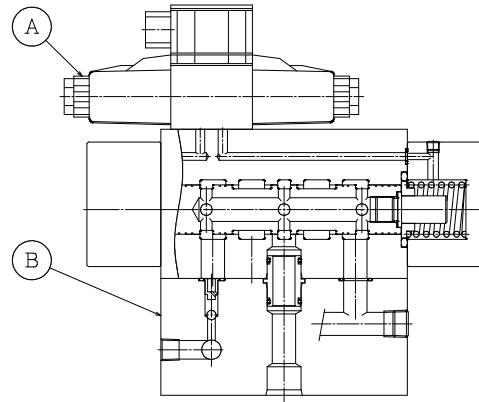
B P S - 8 1 バルブブロック 部品表

(4) BHV-48 方向制御弁



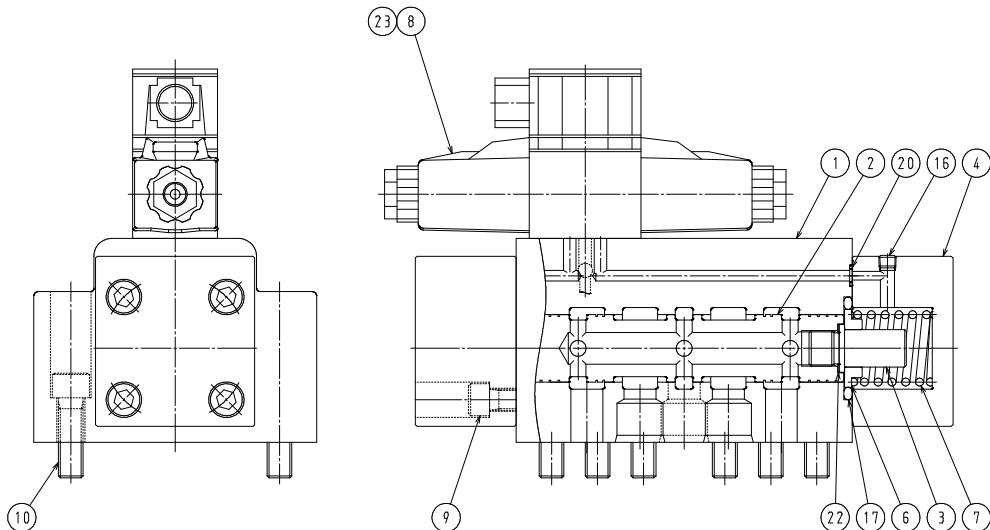
B H V - 4 8 方向制御弁 部品表

(5) 方向制御弁部



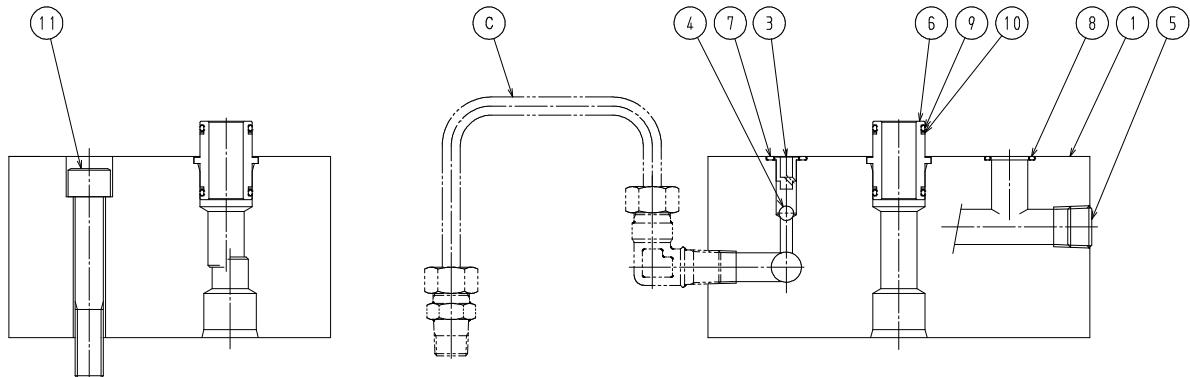
部番	名 称	備 考
A	方向制御弁	SOW-R-48
B	サブプレート	BSS-8
C	配管部	

(A) SOW-R-48 方向制御弁



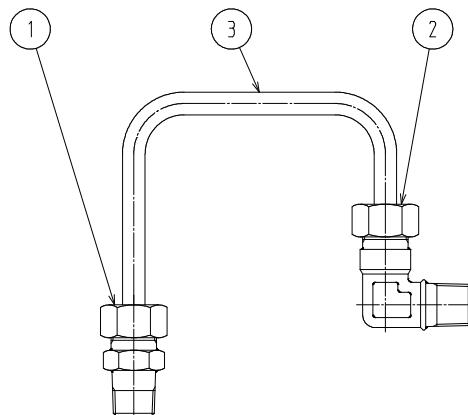
部番	名 称	個数	備 考
1	バルブ本体	1	
2	スプール	1	
3	スプール栓	1	
4	蓋	2	
6	スプリング受	2	
7	スプリング	2	
8	パイロット用電磁弁	1	ダイキン:KS0-G02-4CG-30
9	六角穴付きボルト	8	M12×35
10	六角穴付きボルト	12	M14×45
16	六角穴付きプラグ	3	R1/8
17	Oリング	2	P48A
20	Oリング	2	P9 Hs90
22	銅ワッシャ	1	φ 20×φ 27×1
23	六角穴付きボルト	4	M5×45

(B) BSS-8 サブプレート



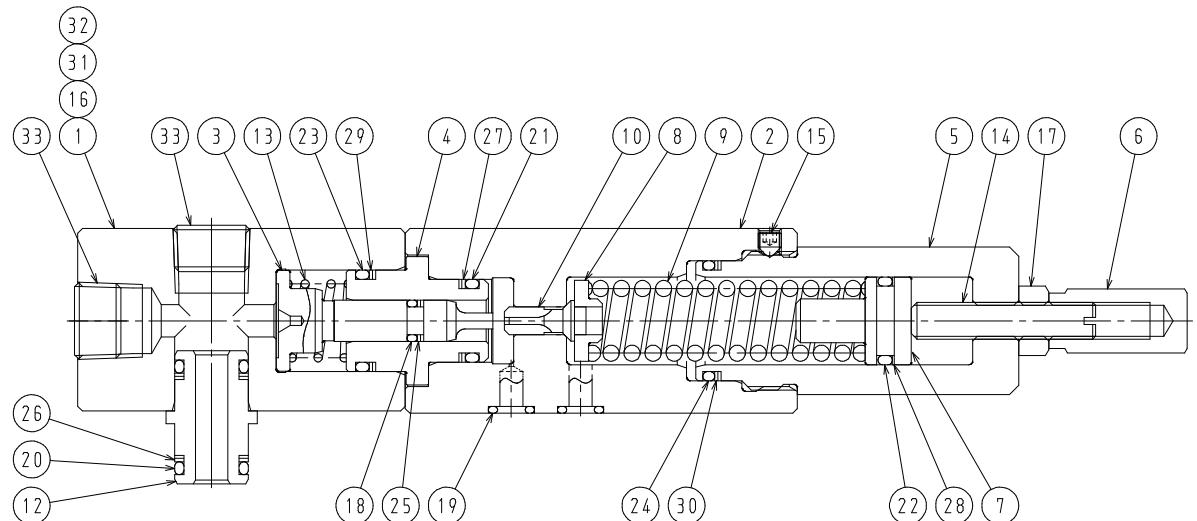
部番	名 称	個数	備 考
1	サブプレート	1	
3	ボール止め	1	
4	スチールボール	1	9/32 (7.1438)
5	六角穴付きプラグ	4	R1/2
6	継手	3	
7	Oリング	1	P16
8	Oリング	2	P21
9	Oリング	6	P22
10	バックアップリング	6	P22用
11	六角穴付きボルト	4	M14×90

(C) 配管部



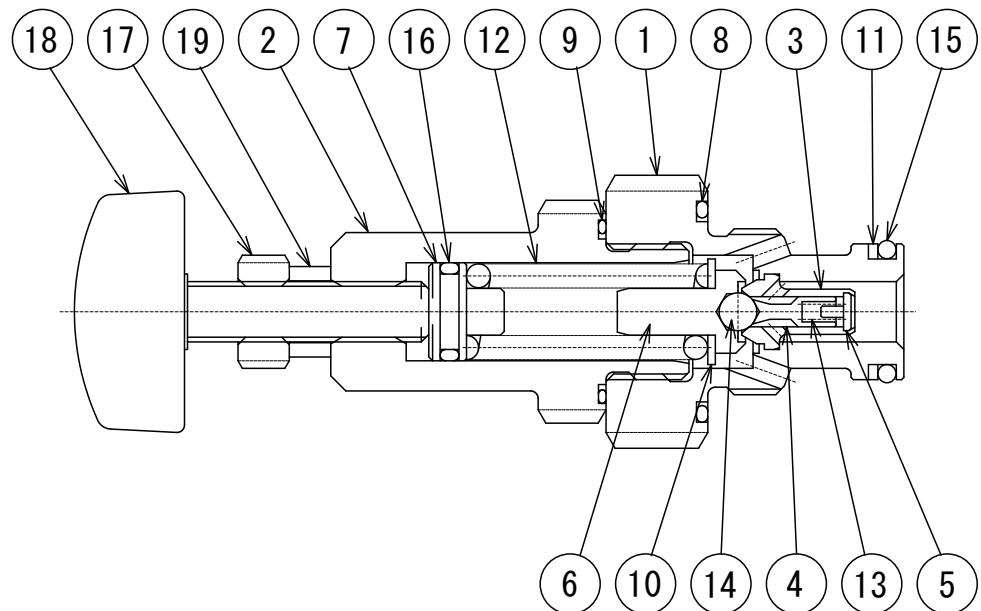
部番	名 称	個数	備 考
1	スタッドユニオン	1	SU-9
2	スタッドエルボ	1	SL-9
3	高圧配管	1	FEP-9

(6) RUN-210 アンロード弁



部番	名 称	個数	備 考
1	パイロット本体 (A)	1	
2	パイロット本体 (B)	1	
3	パイロットピストン	1	
4	接続金具	1	
5	スプリングケース	1	
6	袋ナット	1	
7	スプリング押え	1	
8	スプリング受金	1	
9	スプリング	1	
10	デリバリバルブ (オス)	1	
12	接続金具	1	
13	スプリング	1	
14	すりわり付止めねじ	1	M8×40 平先
15	六角穴付き止めねじ	1	M5×5 とがり先
16	六角穴付き止めねじ	4	M8×15 平先
17	六角ナット	1	M8
18	O リング	1	P6
19	O リング	2	P7
20	O リング	2	P12
21	O リング	1	P14
22	O リング	1	P15
23	O リング	1	P18
24	O リング	1	P22
25	バックアップリング	1	P6 用
26	バックアップリング	2	P12 用
27	バックアップリング	1	P14 用
28	バックアップリング	1	P15 用 1巻
29	バックアップリング	1	P18 用
30	バックアップリング	1	P22 用
31	六角穴付きボルト	6	M8×55
32	六角穴付きボルト	4	M8×70
33	六角穴付きボルト	2	R3/8

(7) CRV-7U 高圧安全弁



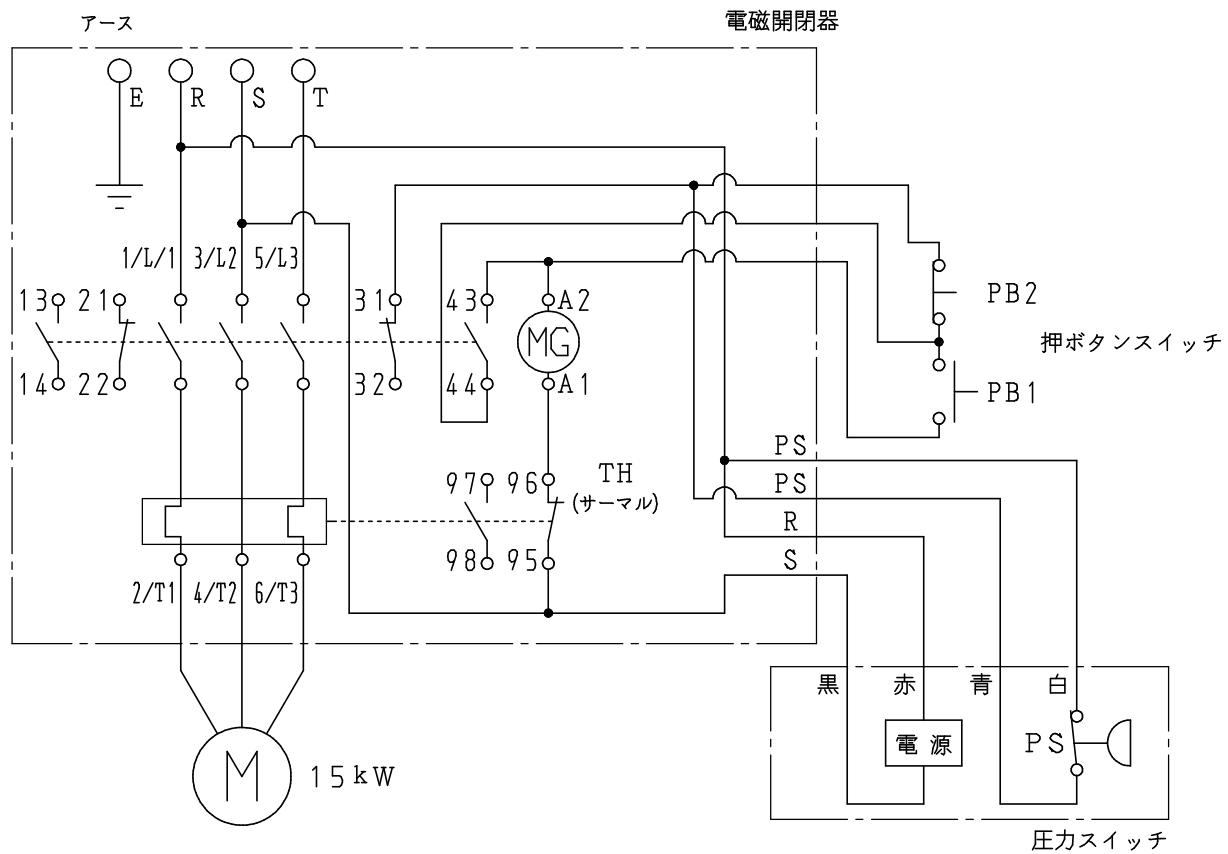
部番	名 称	個数	備 考
1	カートリッジ	1	
2	スプリングケース	1	
3	バルブシート	1	
4	ダンパ	1	
5	スプリング座 (A)	1	
6	ボール座	1	
7	スプリング座 (B)	1	
8	Oリング	1	S26 Hs90
9	Oリング	1	S22 Hs90
10	ワッシャ (C)	1	
11	バックアップリング	1	バイアスカット
12	スプリング (A)	1	
13	スプリング (B)	1	
14	超硬ボール	1	
15	Oリング	1	P14 Hs90
16	Oリング	1	P10
17	六角ナット	1	M8
18	ロッキングキー	1	
19	スペーサリング	1	

1 5 電気回路図

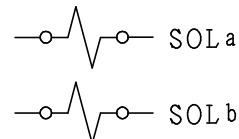
MP-20C、MP-20S、MP-20TK

3φ AC200/220V

50/60Hz



MP-20S



運転方法

※電源ケーブルは付属していませんので、3相 200/220V 19kVA相当の電源工事
を電磁開閉器まで行ってください。

※押ボタンスイッチ（PB1）および（PB2）にて、モータの起動、停止を行います。

※圧力スイッチ（PS）の設定圧力でモータは全停止します。再起動は押ボタンスイッチ（PB
1）にて行ってください。

※欠相運転、過負荷運転等において、サーマル（TH）がトリップすることがあります。その場
合は原因を調査して処置した後、リセットボタンを押して復帰させてください。

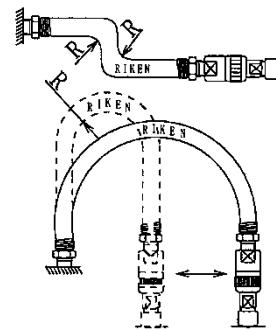
※感電事故防止のためアース接続を必ず行ってください。

1.6 高圧ホースの取扱い

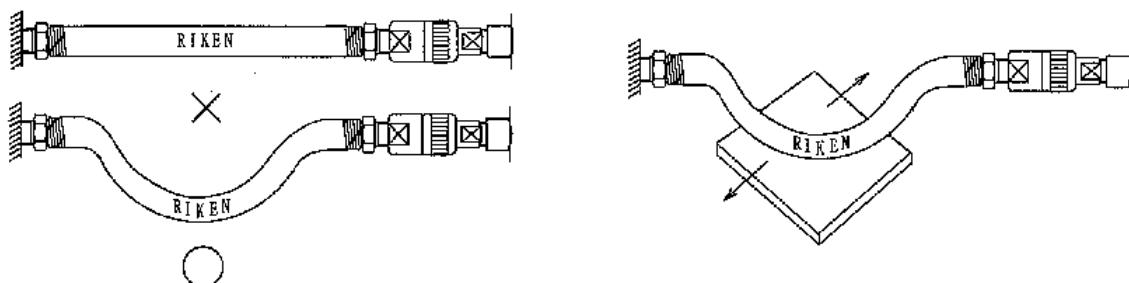
*注意事項

- RIKEN というネームの入った、理研製 70 MPa 用高圧ホースをご使用ください。
- 規定された最小曲げ半径 (R) 以上でお使いください。また、高圧ホースに動きがある場合も、常に最小曲げ半径以上を保つように取り付けてください。

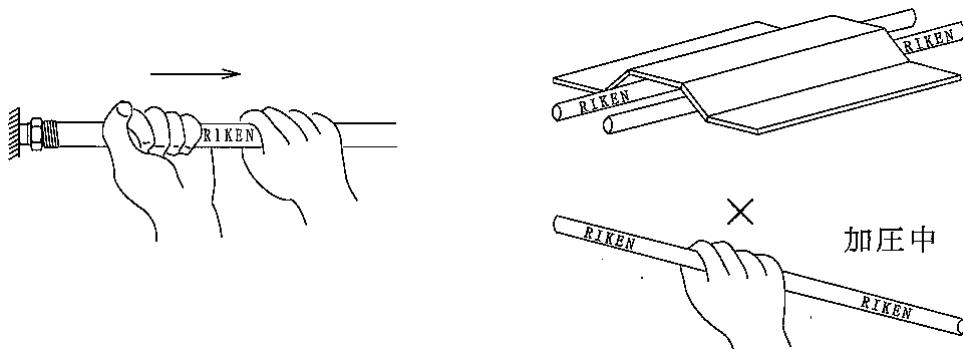
高圧ホースの形式	最小曲げ半径 mm
H8/8-*F	280



- 内圧により伸縮しますので、たわみをもたせて取り付けてください。
- 高圧ホースが床面やものに接触している箇所では、加圧時の伸縮、振動で高圧ホースが擦れますので、サポートをするかクッションをして、高圧ホースを保護してください。



- 高圧ホースを引っ張って装置を移動させないでください。
- 車両などで踏まないでください。また、高圧ホース上へ重量物は落とさないでください。危険と思われる場合は、必ず高圧ホースに保護を設けてください。



⚠️警告 加圧時は絶対に高圧ホースを手で握らないでください。手で握った状態で高圧ホースが破損した場合、高圧の作動油が瞬時に噴き出し、手に穴があくほどのけがをするおそれがあります。

*保守・管理

⚠️警告 高圧ホースは消耗部品です。外観上は異常が認められない状態であっても、内部にキズ、ピンホールが発生しているかも知れません。寿命までいたらなくとも、使用状況などを考慮して定期的な交換をお勧めします。疑問の場合は販売店にお問い合わせください。

- 日常の使用時、または週一度は高圧ホースの外観状態をチェックし、下記のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、交換するなどの処置をしてください。
 - *管用テープねじ部に緩みによる油漏れがある場合は、所定のトルクで再度締め付けてください。それでも油漏れが止まらない場合は交換が必要です。
 - *高圧ホースの口金、外周からの油漏れ、または外周にへこみ、傷、膨らみがあった場合は直ちに交換してください。

17 高圧管、溶接継手

(1) 高圧管の選定

高圧管は理研製FEP-1を使用してください。ただし、配管の距離が長い場合、および無負荷時のシリング速度を重視する場合は、1ランク上のFEP-1 1/4を選定してください。ブランチ、チーズ等で配分された後は、呼び径を小さくすることができます。

(2) 溶接継手

高圧管 FEP-1/2 以上の接続には、理研製溶接継手を使用してください。高圧管の曲げ加工はパイプ径を著しく変形させますので角部はイコールエルボを使用してください。

形式説明

S U — 1
 |
 | パイプ呼び径・ねじ径 1/2、3/4、1、1-1/4
 |
 — 形式記号

S UW : スタッドユニオン

S LW : スタッドエルボ

E UW : イコールユニオン

E LW : イコールエルボ

アフターサービスについて

サービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき再度点検の上、なお、異常がある場合は販売店に修理を依頼してください。安易に分解修理はしないでください。

各ポンプの外形図、質量等の詳細が必要の場合は、販売店にご請求ください。

製造元 理研精機株式会社

総発売元 理研機器株式会社

本 社 〒108-0074 東京都港区高輪4-24-50
TEL 03-3447-1151
FAX 03-5488-7022

大阪支店 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町10-21
TEL 06-6384-2766
FAX 06-6368-2333

福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-12-3（玉井親和ビル）
TEL 092-411-4440
FAX 092-415-1011